

大津市公共下水道事業終末処理場運営協議会

平成30年度 第1回定例会

【 会 議 概 要 】

1 日時：平成30年7月31日（火） 14:00～15:00

2 場所：水再生センター会議室

3 出席者：

委員 《地元代表》

小西 晴弥（大津市公共下水道地元対策委員長）[座長]

前田 英雄（大津市公共下水道地元対策委員）[職務代理者]

住友 時雄（大津市公共下水道地元対策委員）

谷口 修治（大津市公共下水道地元対策委員）

秋澤 雅男（大津市公共下水道地元対策委員）

池田 進（大津市公共下水道地元対策委員）

小島 恵理（大津市公共下水道地元対策委員）

桂田 豊（大津市公共下水道地元対策委員）

《市代表》

井村久行（副市長）、山極正勝（公営企業管理者）、青木修（企業局長）

事務局 企業局技術事業長 白井、水再生センター所長 石崎

下水道課課長 北村、参事 青山、副参事 今井、主査 中江

水再生センター参事 北河、主幹 太田、主幹 中井

傍聴者 なし

4 発言要旨

議事（1）座長の選出について

事務局一任により、座長は小西晴弥委員に決定

座長の指名により、座長職務代理者は前田英雄委員に決定

議事（2）大津市下水道事業の概要について

事務局：資料に基づき説明。

座長：説明に対しまして、何かご意見ありましたらお願いします。

委員：水再生センターにⅠ系とⅡ系の水処理施設があり、Ⅰ系のほうは窒素除去が導入されていないとの事ですが、窒素というものが除去されていないとしたら、どういうことになるのかと、Ⅰ系とⅡ系の水処理施設の稼働率の割合を教えてください。

事務局：窒素はリンとあわせて、富栄養化の原因となる栄養塩類のひとつで、

流入しますと、富栄養化の一因となります。また、稼働率の割合は、だいたい半々で稼働させています。

- 委員 : (工事が始まると) 稼働率としてはⅡ系の方が。
- 事務局 : 工事が始まりますと、仮設をつくりⅠ系処理施設を止めますので、Ⅱ系の方が量的には増えることとなります。
- 委員 : Ⅰ系を新たに作り直すわけですが、処理能力、性能的にはⅡ系と同じようなものですか。
- 事務局 : 予定していますのは、MBRという最終処理として膜処理を行うもので、Ⅱ系と比較してもかなり良い水が排出できると考えています。

議事(3) 水再生センターの平成29年度整備状況と平成30年度整備計画について

- 事務局 : 資料に基づき説明。
- 座長 : 説明に対しまして、何かご意見ありましたらお願いします。
- 委員 : 平成30年度の整備計画は、金銭的にどのくらいかかるものですか。
- 事務局 : 約8,000万円です。

議事(4) 平成29・30年度水再生センターの管理運営の現状について

- 事務局 : 資料に基づき説明。
- 座長 : 説明に対しまして、何かご意見・ご質問がありましたらお願いします。
- 委員 : 琵琶湖放流先周辺水質検査結果の一番上の表で、一番右の欄に水再生センター放流水の6月2日の測定データがあるのですが、これは調査地点と別の日に測定されたのですか
- 事務局 : 水再生センターの放流水の検査を6月2日に実施しましたので、少し日はずれるのですが、6月2日の数値を記載しています。
- 委員 : 6月2日のデータと6月4日のデータを比較すると、電気伝導率・トータル窒素など、かなり数値が違う部分がありますが、日間でこれだけ変動するということですか。
- 事務局 : 調査地点は琵琶湖の湖水で、放流水は水再生センターから出ていく水です。
- 委員 : 水再生センターの放流水データは②の採取地点ではないのですか。
- 事務局 : ②の採取地点は浮標灯の下流付近の琵琶湖の水です。
- 委員 : 琵琶湖の水。直ぐ出口ということですか。
- 事務局 : 出口ではありますが、位置的にはかなり拡散されており、影響がないことを示しています。
- 委員 : 二本の放流管の先端部分のところですか。
- 事務局 : 先端部分の近くの水ということです。
- 委員 : それが直ぐに拡散されるということですか。
- 事務局 : 琵琶湖の底のほうで放流していますので、表層に来るまでに拡散されるということもあります。

- 委員 : 本当の出口で取ったデータは、6月2日ということですか。
- 事務局 : 出口から出て行く水のデータは、放流水の水質となります。
それと、周辺水域の水質を比較して見ていただくために記載していません。
- 委員 : 分かりやすく言えば、6月2日の放流水の水質で出てくるが、直ぐに拡散されて、この程度の水質になるということですか。
- 事務局 : 琵琶湖水質への影響は、この程度であるということを示しています。
- 委員 : 分かりました。
- 委員 : 水温についてですが、年々上がっているようで、これは同じ頃に採っているけれど、その前後の気候もありますが、全体的に水温が上がっているようになっているのですが、通年としてみればそれほど変わらないのでしょうか。
たまたま暑い日が続いてなったのか、実際に琵琶湖の水温そのものが少しずつ上がってきているという傾向があるのでしょうか。
- 事務局 : 下水の水は、一定の水温といわれています。琵琶湖3年間の表の水温を見ますと、どんどん上がってきている感じを受けますが、湖水の水温は天候・放流量とか、いろいろな要因で変わります。たまたま3年間このような傾向が見えますが、極端には変動していないと思います。
- 委員 : (水質検査成績書は) 全て基準値以下ということですが、放流水もそうですか。
- 事務局 : 放流水につきましては、十分基準値より低い値で放流しております。
- 委員 : 計画している新しい施設は、放流水も同じ程度の質と量を流し出すということですか。
- 事務局 : かなり良くなると思います。

議事(5) 大津市公共下水道事業終末処理場運営協議会設置要綱の改正について

- 事務局 : 資料に基づき説明。
- 委員 : 改正は今年度か来年度かどちらからですか。
- 事務局 : 今年度から改正したいと思います。
- 委員 : この内容で結構だと思います。
- 事務局 : よろしく申し上げます。

議事(6) その他

- 委員 : 最近、雨がすごく多いですが、雨水と分離されていない古い下水道管の水を、(貯留管に)一時貯めるということですが、うまく機能していますか。
- 事務局 : 合流改善施設ですね。大量に雨が降った場合、貯留管に貯めるということと、高速凝集を行って琵琶湖へ放流しています。

- 委員 : 今年は特に雨が多く、琵琶湖も泥水のように、一気に水量が増えましたが、機能しているので十分にいけるということですか。
- 事務局 : 今回、大量に流れ込んできましたが、なんとか処理できました。
- 委員 : ハザードマップを見ますと、琵琶湖の水位が上がると、このあたりもかなり水が来ますが、施設のほうの防御は完全になされているのでしょうか。
- 事務局 : ハザードマップによりますと、このあたりも水没しますが、水位上昇による被害を考えますと、放流量の調整等により、そこまでの上昇は無いのではと考えています。
- もし、そのような恐れが出てきた場合は、土嚢等で対処したいと考えています。
- 委員 : 大阪北部地震があり、大阪で水道管の老朽化が激しくて、バンバン水が噴き出すということがありましたが、地震はどうか。
- 事務局 : 地震の可能性は無いとはいえません。危ないところについては、鋭意、更新していますが、実際に起こってみないと分かりません。
- 地震対策という形で避難所・緊急病院の管路について耐震計画を優先的に進めています。全ての管路の耐震化となると莫大な費用が必要となりますので、避難所・病院の管路の耐震化を今現在進めています。
- 付け加えますと、先ほど話が出ました合流改善事業で膳所浄水場から処理場まで、処理場から浜大津まで貯留管を入れてあります。その貯留管に汚水の専用管も入れており、その管については耐震化が図られていますので、湖岸道路の膳所浄水場から浜大津までの污水管渠は耐震化ができています。
- 座長 : 本日の案件は全て終了しました。他になければ終了とさせていただきます。